

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

■税理士学科 合計 180 時間／6 単位

年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
1	ビジネス実務入門 I	講義	選択	30 時間	1 単位	企業等の総務職でマネジメント経験のある実務家
目的	社会の現場で日常発生している事例を実務家より学び、新社会人として必要なビジネス知識を修得する					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
1	ビジネス実務応用 I	演習	選択	60 時間	2 単位	企業のマネジメント経験のある実務家
目的	職場での電話対応・来客対応・ビジネス文書作成などの技術を身に付け、さらに社会の現場で起こるヒューマンエラーの初期対応法を実務家より学び修得する					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	経理実務 I	講義	選択	60 時間	2 単位	経理実務に関する実務経験のある教員
目的	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な計算処理を実務家より学び修得する					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	給与計算実務 I	講義	選択	30 時間	1 単位	給与計算に関する実務経験のある教員
目的	所得税・住民税の納付税額の算出方法および年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入方法を実務家より学び修得する					

■公認会計士学科 合計 180時間／6単位

年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
1	ビジネス実務入門Ⅰ	講義	選択	30時間	1単位	企業等の総務職でマネジメント経験のある実務家
目的	社会の現場で日常発生している事例を実務家より学び、新社会人として必要なビジネス知識を修得する					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
1	ビジネス実務応用Ⅰ	演習	選択	60時間	2単位	企業のマネジメント経験のある実務家
目的	職場での電話対応・来客対応・ビジネス文書作成などの技術を身に付け、さらに社会の現場で起こるヒューマンエラーの初期対応法を実務家より学び修得する					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	経理実務Ⅰ	講義	選択	60時間	2単位	経理実務に関する実務経験のある教員
目的	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な計算処理を実務家より学び修得する					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	給与計算実務Ⅰ	講義	選択	30時間	1単位	給与計算に関する実務経験のある教員
目的	所得税・住民税の納付税額の算出方法および年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入方法を実務家より学び修得する					

■ オフィスビジネス学科 合計 275 時間／12 単位

年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
1	キャリアデザインⅠ	演習	必修	30 時間	1 単位	営業販売に関する実務経験のある教員
目的	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	流通キャリアデザインⅢ	実習	選択	30 時間	1 単位	営業販売に関する実務経験のある教員
目的	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身に付ける					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	流通キャリアデザインⅤ	実習	選択	30 時間	1 単位	営業販売に関する実務経験のある教員
目的	社会環境を理解し、課題をクリアするための力を見につける					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	流通キャリアデザインⅥ	実習	選択	30 時間	1 単位	流通販売に関する実務経験のある教員
目的	社会環境を理解し、課題をクリアするための力を見につける					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	職業実務Ⅱ	演習	選択	15 時間	1 単位	官公庁の職員・元公務員の教員
目的	官公庁研究を通して、公務員の仕事を理解する					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	職業実務Ⅲ	演習	選択	15 時間	1 単位	官公庁の職員・元公務員の教員
目的	官公庁研究を通して、公務員の仕事を理解する					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	職業実務Ⅳ	演習	選択	15 時間	1 単位	官公庁の職員・元公務員の教員
目的	官公庁研究を通して、公務員の仕事を理解する					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	職業実務Ⅴ	演習	選択	15 時間	1 単位	官公庁等職員を招聘し、講義・演習・実習を行う場合がある
目的	官庁企業研究を通して、公務員の仕事を理解する					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	官公庁講話	演習	選択	20 時間	1 単位	官公庁の職員・元公務員の教員
目的	希望職種のみならず幅広い職種を理解する					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	公務員倫理	演習	選択	15 時間	1 単位	実務経験者による講義を基にした演習
目的	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	法律研究	演習	選択	30 時間	1 単位	法律実務家による実践的知識を基にした講義と実習
目的	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	行政研究	実習	選択	30 時間	1 単位	公安職実務家による講義を基にした演習
目的	災害に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする					

■行政事務学科 320時間／14単位

年次	授業科目	授業形態		必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
1	職業実務Ⅰ	演習		必修	15時間	1単位	官公庁の職員・元公務員の 教員
目的	官公庁研究を通して、仕事内容や業務に関する法律基礎知識を理解する						
年次	授業科目	授業形態		必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
1	職業実務Ⅱ	演習		選択	15時間	1単位	官公庁の職員・元公務員の 教員
目的	官公庁研究を通して、公務員の仕事内容を理解する						
年次	授業科目	授業形態		必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
1	職業実務Ⅲ	演習		選択	15時間	1単位	官公庁の職員・元公務員の 教員
目的	官公庁研究を通して、公務員の仕事内容を理解する						
年次	授業科目	授業形態		必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
1	職業実務Ⅳ	演習		選択	15時間	1単位	官公庁の職員・元公務員の 教員
目的	官公庁研究を通して、公務員の仕事内容を理解する						
年次	授業科目	授業形態		必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
1	職業実務Ⅴ	演習		選択	15時間	1単位	公官庁等職員を招聘し、講 義・演習・実習を行う場合が ある
目的	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する						
年次	授業科目	授業形態		必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
1	キャリアデザインⅠ	演習		選択	30時間	1単位	座学を基に実技練習を行 い、効果測定を行う
目的	面接時の入退室及び自己PRを習得する						
年次	授業科目	授業形態		必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	法律研究	演習		選択	30時間	1単位	法律実務家による実践的知 識を基にした講義と実習
目的	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする						
年次	授業科目	授業形態		必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	行政研究	実習		選択	30時間	1単位	公安職実務家による講義を 基にした演習
目的	災害に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする						

年次	授業科目	授業形態		必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	官公庁講話	演習		選択	20 時間	1 単位	官公庁の職員・元公務員の 教員
目的	希望職種のみならず幅広い職種を理解する						
年次	授業科目	授業形態		必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	公務員倫理	演習		選択	15 時間	1 単位	実務経験者による講義を基 にした演習
目的	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける						
年次	授業科目	授業形態		必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	流通キャリアデザインⅢ	実習		選択	30 時間	1 単位	
目的	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける						
目的	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける						
年次	授業科目	授業形態		必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	流通キャリアデザインⅤ	実習		選択	30 時間	1 単位	
目的	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける						
年次	授業科目	授業形態		必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	流通キャリアデザインⅥ	実習		選択	30 時間	1 単位	流通販売に関する実務経験 のある教員による実習
目的	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける						
年次	授業科目	授業形態		必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	マーケティング概要	講義		選択	30 時間	1 単位	
目的	マーケティングの知識を体系的に習得する						

■医療ビジネス学科 605時間/23単位

年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
1	病院実習Ⅰ	実習	必修	60時間	2単位	病院勤務の医療事務員
目的	保険医療機関等で医療事務員として必要な基礎知識を学ぶ					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
1	病院実習Ⅱ	実習	必修	60時間	2単位	病院勤務の医療事務員
目的	保険医療機関等で医療事務員として必要な患者応対を学ぶ					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	病院実習Ⅲ	実習	選択必修A	60時間	2単位	病院勤務の医療事務員
目的	総合病院等で医療事務員として必要な行動を学ぶ					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	病院実習Ⅳ	実習	選択A	60時間	2単位	病院勤務の医療事務員
目的	総合病院等で医療事務員として必要な行動、態度、技術を学ぶ					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	病院実習Ⅴ	実習	選択A	60時間	2単位	病院勤務の医療事務員
目的	保険医療機関内の組織、それぞれの役割、業務内容を学ぶ					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	病院実習Ⅵ	実習	選択必修A	60時間	2単位	病院勤務の医療事務員
目的	保険医療機関内での他職種との連携業務を学ぶ					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	病院実習Ⅶ	実習	選択A	30時間	1単位	病院勤務の医療事務員
目的	一医療人になるために基礎的な患者応対から事務的な仕事までを学ぶ					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	病院実習Ⅷ	実習	選択A	60時間	2単位	病院勤務の医療事務員
目的	医療事務員としての応用的な知識も含め、全ての業務を学ぶ					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	職業実務Ⅱ	演習	選択	15時間	1単位	官公庁の職員・元公務員の教員
目的	官公庁研究を通して、公務員の仕事内容を理解する					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	職業実務Ⅲ	演習	選択	15時間	1単位	官公庁の職員・元公務員の教員
目的	官公庁研究を通して、公務員の仕事内容を理解する					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	職業実務Ⅳ	演習	選択	15時間	1単位	官公庁の職員・元公務員の教員
目的	官公庁研究を通して、公務員の仕事内容を理解する					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	職業実務Ⅴ	演習	選択	15時間	1単位	公官庁等職員を招聘し、講義・演習・実習を行う場合がある
目的	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）

2	公官庁講話	演習	選択	20 時間	1 単位	官公庁の職員・元公務員の教員
目的	希望職種のみならず幅広い職種を理解する					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	公務員倫理	演習	選択	15 時間	1 単位	実務経験者による講義を基にした演習
目的	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	法律研究	演習	選択	30 時間	1 単位	法律実務家による実践的知識を基にした講義と実習
目的	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	行政研究	実習	選択	30 時間	1 単位	公安職実務家による講義を基にした演習
目的	災害に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする					

■ スポーツ産業学科 395 時間 / 16 単位

年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考 (実務家概要)
1	エアロビクス I	実習	必修	60 時間	2 単位	フィットネスクラブ等で指導経験がある教員
目的 エアロビクスダンスの特性・効果を理解し、構成する各種運動や動作を修得する						
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考 (実務家概要)
1	水中運動 I	実習	必修	60 時間	2 単位	フィットネスクラブ等で指導経験がある教員
目的 水の特性を理解し、水中運動を校正する各種運動・動作を修得する						
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考 (実務家概要)
2	アクアエクササイズ	実習	選択必修	30 時間	1 単位	フィットネスクラブ等で指導経験がある教員
目的 アクアダンスの特性・効果を学び、アクアエクササイズインストラクターとしての指導法を学ぶ						
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考 (実務家概要)
2	エアロビクス II	実習	選択必修	30 時間	1 単位	フィットネスクラブ等で指導経験がある教員
目的 エアロビクス I で修得した知識を更に深め、エアロビクスインストラクターとしての指導法を学ぶ						
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考 (実務家概要)
2	流通キャリアデザイン V	実習	選択	30 時間	1 単位	営業販売に関する実務経験のある教員
目的 社会環境を理解し、課題をクリアするための力を見につける						
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考 (実務家概要)
2	流通キャリアデザイン VI	実習	選択	30 時間	1 単位	流通販売に関する実務経験のある教員
目的 社会環境を理解し、課題をクリアするための力を見につける						
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考 (実務家概要)
2	職業実務 II	演習	選択	15 時間	1 単位	官公庁の職員・元公務員の教員
目的 官公庁研究を通して、公務員の仕事を理解する						
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考 (実務家概要)
2	職業実務 III	演習	選択	15 時間	1 単位	官公庁の職員・元公務員の教員
目的 官公庁研究を通して、公務員の仕事を理解する						
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考 (実務家概要)
2	職業実務 IV	演習	選択	15 時間	1 単位	官公庁の職員・元公務員の教員
目的 官公庁研究を通して、公務員の仕事を理解する						
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考 (実務家概要)
2	職業実務 V	演習	選択	15 時間	1 単位	官公庁等職員を招聘し、講義・演習・実習を行う場合がある
目的 官庁企業研究を通して、公務員の仕事を理解する						
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考 (実務家概要)
2	官公庁講話	演習	選択	20 時間	1 単位	官公庁の職員・元公務員の教員
目的 希望職種のみならず幅広い職種を理解する						

年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	公務員倫理	演習	選択	15 時間	1 単位	実務経験者による講義を基にした演習
目的	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	法律研究	演習	選択	30 時間	1 単位	法律実務家による実践的知識を基にした講義と実習
目的	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
2	行政研究	実習	選択	30 時間	1 単位	公安職実務家による講義を基にした演習
目的	災害に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする					

■経理専攻科 90時間／3単位

年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
1	経理実務 I	講義	選択	60 時間	2 単位	経理実務に関する実務経験のある教員
目的	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な計算処理を実務家より学び修得する					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
1	給与計算実務 I	講義	選択	30 時間	1 単位	給与計算に関する実務経験のある教員
目的	所得税・住民税の納付税額の算出方法および年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入方法を実務家より学び修得する					

■税理士本科 90時間／3単位

年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
1	経理実務 I	講義	選択	60 時間	2 単位	経理実務に関する実務経験のある教員
目的	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な計算処理を実務家より学び修得する					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
1	給与計算実務 I	講義	選択	30 時間	1 単位	給与計算に関する実務経験のある教員
目的	所得税・住民税の納付税額の算出方法および年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入方法を実務家より学び修得する					

■国際ビジネス学科 90時間／3単位

年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
1	ビジネス実務入門 I	講義	選択	30 時間	1 単位	企業等の総務職でマネジメント経験のある実務家
目的	社会の現場で日常発生している事例を実務家より学び、新社会人として必要なビジネス知識を修得する					
年次	授業科目	授業形態	必選の別	時間数	単位数	備考（実務家概要）
1	ビジネス実務応用 I	演習	選択	60 時間	2 単位	企業のマネジメント経験のある実務家
目的	職場での電話対応・来客対応・ビジネス文書作成などの技術を身に付け、さらに社会の現場で起こるヒューマンエラーの初期対応法を実務家より学び修得する					